

## 平成30年度高知県公共事業再評価委員会

平成31年2月1日(金) 9:00~12:00

高知共済会館 3階大ホール「桜」

### 春遠生活貯水池建設事業【事業再評価】

#### ■主な意見等

委員 : 再評価の経緯の確認ですが、平成23年度に再評価を実施し、平成25年度に全体計画が策定されています。平成28年度の再評価は単に平成23年度から5年経過したことにより再評価を行ったということか。

河川課 : そうです。

委員 : 今回は施設計画の見直しということで、これまで事業計画に長い時間がかかっている印象をもっているのので、早期完成に向けて引き続き頑張ってください。

委員 : 今回のような大きな計画の変更が行われた事例はあるか。

河川課 : 今回と同様に新たな工法や形式がでたことで計画の見直しが行われた事例はあります。

委員 : 流水型ダムの事例が全国で3事例ありますが、流水型ダムの問題点等あれば教えてください。

河川課 : 流水型ダムの場合、ダム上流側で流木等がひっかかり、通水が阻害されることが想定されますが、作業スペースの狭い導水トンネルよりは維持管理が容易と考えております。

委員 : 流水型ダムは維持管理の面だけでなく、環境面においても平常時には水が流れ、ダム上下流における河川の連続性が確保できるため今回の計画見直しについては賛成している。

委員 : 総事業費が約66億円と前回再評価時から変更ないが、計画見直しによる新たなリスクの有無があれば説明してほしい。

河川課 : 春遠第2ダムの設計は、ボーリング調査を密に行い国の専門機関による地質状況の確認を行うなど慎重に協議を進め、リスク低減に努めながら事業を進めております。

委員 : 大月町の人口は、平成26年から平成28年の間で5.1%減少しており、ダム完成予定時期の平成37年までこのペースが続けば、相当の人口が減少することになる。ダムが完成しても、地域住民の暮らしなど守られるべき資産がないとなるとダムを建設する意味が無くなってしまう。ダムを造るなら早期に完成させる必要があると思う。

河川課 : 人口が減少しているのは事実ですが、この地域に残り住まれる方々もいることから、この地域において一刻も早く流水の正常な機能の維持と水道用水が安定的に供給できるよう、引き続き早期事業の完了に努めたいと考えております。

委員長 : 維持管理の効率性などを考慮すると、新たな計画の方がB/Cが高くなるように思うが、今回算出されたB/Cが前計画より低くなる要因が何なのか教えていただきたい。

また、河川法では、河川整備計画を変更する際、地元への説明が必要とされておりますが、しっかりと地元に対しても説明されているのか教えていただきたい。

河川課 : まずB/Cについてですが、導水トンネルの場合トンネル内で堆積される土砂の撤去費がかかるため、本来、費用対効果として加味すべき費用とも考えられますが、通常、ダムのB/Cを算出する際は100年間でダムに堆砂する土砂の撤去費は加味しないことから、導水トンネルにおいてもそれを適用し土砂の撤去費を加味しておりませんでした。

このため、これまでの再評価におけるB/Cは土砂・流木の撤去費が計上されていない分高くなっておりました。

今回の計画見直しにより、維持管理費の効率性は良くなるものの、B/Cが前回評価時と比べ少し低くなるのはそういった要因によるものと考えております。次に、対外的な説明ですが、河川整備計画を策定・変更する際の有識者委員会である河川委員会において説明しており、また住民に対してもパブリックコメントや地元説明を実施しております。

委員長 : ありがとうございます。その他意見等ございませんか。  
対応方針としまして、当該事業に対する地元要望は強く、B/Cは2.34と十分であり、この事業を行うことによって浸水被害の軽減や利水安全度の確保が図られることから、事業継続の効果は高いため、「事業継続A」としてよろしいでしょうか。

委員 : 異議なし

委員長 : 委員の皆さん全員の一致で「継続A」で決定したいと思います。

## 水産生産基盤整備事業（安芸漁港）【事業再評価】

### ■主な意見等

委員：P19 整備効果の検証について、泊地区分 C1-2 では「避難泊地としての総合評価」が「×」となっていますが、問題ないか。

漁港漁場課：泊地区分 C1-2 は突堤に挟まれた箇所であり、漁船が停泊することはないため、問題ありません。

委員：計画当初のシミュレーションでは防波堤をさらに 100m 延伸した際の検討はできていなかったのか。

漁港漁場課：すびき現象を解析した事例が少ない中、平成 13 年当時の最新の数値シミュレーションソフトによりすびき現象への対策の検討を行い、沖防波堤 150m の整備を進めてきました。整備により被害が少なくなってきましたが、まだ依然として被害が発生していることから、地元からの強い要望もあり、平成 28 年～平成 29 年の 2 年間で現地において荒天時の流速・水位の調査を行いました。この現地調査と最新の数値シミュレーションソフトによる解析を踏まえ、対策工法の検討を行った結果、防波堤の延伸による効果が高かったことから、今回の事業計画見直しの必要が生じました。

委員：事業着手から 17 年が経過しているが、これまで再評価を実施しなかった理由を教えてください。

漁港漁場課：ご指摘の通り、当該事業は県の再評価委員会では審議いただっておりません。しかしながら、水産庁の補助事業における再評価の実施基準のうち、「事業採択後 10 年間を経過した時点で継続中の事業」として、水産庁の第三者委員会である「水産関係公共事業に関する事業評価技術検討会」において、審議いただき、事業継続の評価をいただいております。

委員：整備効果検証において、B、D 泊地の評価が「△」となっているが、問題ないか。

漁港漁場課：B、D 泊地については、荒天時等に漁船が停泊しない箇所でありますので、問題ありません。なお、B 泊地の背後には荷捌き所があり、これまですびき現象による浸水が度々発生していましたが、今回の防波堤延伸によるシミュレーション

の結果、荷捌き所が最低限浸水しない水位となるよう防波堤の計画を検討しており、地元の方々にもその旨説明しご理解いただいております。

委員：今回の防波堤延伸により事業期間が平成36年度まで伸びると思うが、地域の漁業への影響はないのか。

漁港漁場課：防波堤を100m延伸する場合、4回（ケーソン25m×4函）に分けて順次、延伸していく施工になり、最短でも5年はかかると考えております。  
特に延伸する防波堤100mの整備効果は大きいことが検証結果でも分かっており、ケーソン1函が設置される毎に効果が発現していくことが見込まれますので、順次、整備効果を発現させていきたいと考えております。

委員長：水産加工施設が進出しているF泊地西側の土地については、防波堤の延伸長が足りてないように思うが、大丈夫か。

漁港漁場課：当箇所においては、台風時の越波による被害を防ぐため、別事業で護岸の嵩上げを実施することとしており、今回の沖防波堤の延伸と併せて実施することで相乗的に整備効果が発現されるものと考えております。

委員長：ありがとうございます。その他意見等ございませんか。  
対応方針としまして、当該事業に対する地元要望は強く、B/Cは1.14と十分であり、沖防波堤を100m延伸することにより、台風等の荒天時における安全性が向上するほか、用地利用上の安全性確保が地域産業に寄与するなど、事業継続の効果が高いことから、「事業継続A」としてよろしいでしょうか。

委員：異議なし

委員長：委員の皆さん全員の一致で「継続A」で決定したいと思います。

## 安芸川河川改修事業【新規事業採択時評価】

### ■主な意見等

委員：河道拡幅（引堤）の場合、多くの用地買収を行う必要があると思うが、事業期間内で事業が完了するのか。

河川課：地元住民にとって農地は貴重な財産であることから、例えば、全ての用地を買収するのではなく、川側の農地については、これまで通り一定の浸水は許容しながら農地として使っていただき、家屋については堤防で囲むといった案など、地元住民にも納得いただけるように具体的な計画について今後地元との調整を行い、早急に事業を進めていきたいと考えております。

委員：引堤案の場合、平時は農地が使えるかもしれないが、洪水の際は浸水してしまうかもしれないということで、地元へも丁寧な説明が必要になると思うが、地元との交渉はどういった状況か教えていただきたい。

河川課：本格的な地元への説明は、当該事業の国の新規補助事業としての採択の目途や今回の審議結果を踏まえて行いたいと考えております。

委員：当箇所は記憶に新しい災害であり、安全安心の暮らしのために必要な事業だと感じている。地元住民にとって大切な農地であるため、住民の方々とうまく調整がいくことを願っている。想定外の雨が近年頻発していることから早め早めの対策が重要だと思うので、早急に事業を進めていただきたい。

委員長：ありがとうございます。その他意見等ございませんか。  
対応方針としまして、当該事業に対する地元要望は強く、B/Cは3.1と十分であり、平成30年7月豪雨により、床上浸水被害や孤立集落の発生や、長時間にわたる県道の通行止めが発生するなど、地域住民の生活に大きな影響を与えた状況を鑑み、「新規事業化は妥当である」としてよろしいでしょうか。

委員：異議なし

委員長：委員の皆さん全員の一致で「継続A」で決定したいと思います。